

はじめに

国際化、情報化、価値観の多様化などが急速に進む現在、学校教育においては児童・生徒一人ひとりの個性が生きる教育や豊かな人間性、社会性を育む教育が求められています。神奈川県では平成16年3月に「神奈川県力構想・プロジェクト51」を策定し、本県を支える次世代の育成を含む、本県が進むべき将来の方向と取組が示されました。その実現に向けて、各学校では「確かな学力」を育むために、基礎・基本の定着を図り、児童・生徒一人ひとりの個性を生かす教育の充実に努め、特色ある教育活動を展開するための指導方法や具体的な手立て等について、研究し、開発することが求められています。

総合教育センターでは本年度もこれらの教育課題を踏まえ、理論分析をはじめ検証授業や教材開発を通して課題解決に向けた研究に取り組んでまいりました。その研究成果としてここに「研究集録第24集」を作成し、所員中心の研究論文を22本掲載いたします。

その内容は、確かな学力を育む授業づくりに関する調査研究、校種間連携による教科指導法の研究、学校でのIT技術活用法の研究、特別支援教育の展開に関する研究等多岐にわたっております。

紙幅の関係もあり、十分に意を尽くしていない部分もあるかと思いますが、各学校の教育課題の解決や教育実践の一助として御活用いただければ幸いです。また、この研究集録の内容につきまして率直な御意見をいただくことで、更に研究の充実に図っていきたいと考えております。

おわりになりますが、それぞれの調査・研究の推進に際しまして御支援・御協力をいただきました学校及び関係教育機関の方々に厚く御礼申し上げます。

平成17年3月

神奈川県立総合教育センター

所長 清水進一